

1 検討の背景

町田市の人口は2020年にピークに達し、その後減少することが見込まれており、生産年齢人口の減少・超高齢化社会への対応が急務となっている。高齢化の進展により社会保障関係経費はさらに増大することとなり、また、今後公共施設の維持管理コストが増大することが想定されることなどから、市の財政は構造的収支不足とも言える状況が顕在化しつつある。この危機を変革の契機として公共サービスのあり方の転換が求められている。

これらの環境変化を踏まえ、「町田市5カ年計画17-21」行政経営改革プランにおいて町田市立図書館は、鶴川駅前図書館、忠生図書館を新しく開館するなど、図書館サービスの利便性を高めてきたが、貸出冊数は減少傾向にあることなどから、効率的・効果的なサービスを提供するとともに、8か所ある図書館の再編を推進するため、2018年度までに見直し案を決定することとした。

また、必要な公共サービスを維持または向上させていくため、町田市は2016年3月に「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」を、2018年6月には「公共施設再編計画」を策定した。同計画のなかで図書館は、方向性として「集約化や複合化・多機能化」などを進めていくことを決定した。

一方、生涯学習分野では2018年3月に町田市生涯学習審議会から今後重点的に取り組むべき生涯学習施策の方向性や運営に関する答申を受けている。

本報告は、こうした経緯とその考え方や方針を踏まえて、町田市立図書館の見直しについて検討を行い、その結果をとりまとめたものである。

2 図書館の役割と町田市立図書館の運営理念

2012年12月に改正された文部科学大臣が定める図書館の運営に関する基準「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」では、図書館が読書活動を通じた社会教育を行うことを基本としつつも、新たに「地域の課題に対応したサービス」を行うよう努めることとしている。

町田市立図書館は、これらの図書館法等に基づく図書館の基本的な考え方や役割、その変化等に対応しながら、2013年4月に定めた運営理念に基づき図書館運営を行っている。

町田市立図書館の運営理念（2013年4月）

- 【運営理念Ⅰ】図書館は、市民の知る自由を保障し、学ぶ機会を提供します。
- 【運営理念Ⅱ】図書館は、人々が出会う場を提供し、地域の発展を支援します。
- 【運営理念Ⅲ】図書館は、市民文化の創造・発展に貢献します。
- 【運営理念Ⅳ】図書館は、市民と共に考え、市民と共に歩みます。
- 【運営理念Ⅴ】図書館は、職員の専門的能力と資質の向上に努めます。

3 取り巻く状況

◆インターネットやスマートフォンの普及 情報の調べ方

- インターネット検索（PC・スマートフォンなど） 62.8%
- 本を買う 7.7%
- 図書館で本を借りる 3.2%

*「2017年度町田市生涯学習に関する市民意識調査」